

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	安有01 R0
提出年月日	令和3年1月29日

設工認に係る補足説明資料
【安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備の
環境条件の設定について】

1. はじめに

安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備の環境条件（環境圧力，環境温度，環境湿度及び環境放射線量）の設定について，以下にまとめる。

設計基準事故時及び重大事故等時における環境条件のうち，環境圧力，環境温度，環境湿度及び環境放射線量については，原則として事象及びエリアに応じた一律の環境条件を設定するが，必要に応じて個別の環境条件を設定する。一律及び個別の環境条件を設定する場合の考慮事項や設定する環境条件について，以下に示す。

なお，第1回申請対象設備の安全冷却水 B 冷却塔及び安全冷却水 B 冷却塔飛来物防護ネットは屋外に設置されていることから，「一律で設定する環境条件の考慮事項」のうち「屋外の環境条件」について示す。

2. 安全機能を有する施設の環境条件について

2.1 一律で設定する環境条件の考慮事項

安全機能を有する施設に対して，VI-1-1-4 の 2.3 節記載の設置場所における環境条件を表 2-1 「安全機能を有する施設の環境条件及び考慮事項」に示す。

表 2-1 安全機能を有する施設の環境条件及び考慮事項

No	安全機能を有する施設の設置エリア	環境条件		考慮条件
1	屋外	圧力	・ 大気圧	・ 圧力上昇要因がないエリア
		温度・湿度	・ 35℃ ・ 100%	・ 温度は既往最大値を包絡する値を設定 ・ 湿度は考えられる最大値
		放射線	・ 2.6 μ Gy/h	・ 管理区域外 I1 区分の基準線量率を設定